

団体名 <b>沖縄県立糸満高等学校</b>	連絡先 TEL : 098-994-2012 Eメール : <a href="http://www.itoman-h.open.ed.jp/">http://www.itoman-h.open.ed.jp/</a>
--------------------------	--

## 1 実践事項 (②)

タイトル：「総合的な探究の時間の目標や特質に応じた平和学習の取り組み」

## 2 実践内容

本校は創立78年目の伝統校である。総合的な探究の時間「怒濤タイム」（各学年1単位）を中心に、本校独自の特色である教育プログラムを展開している。ESD（持続可能な開発のための教育）の視野を取り入れた体験的・探究的な学習の実践として、1年次に「まちづくりプロジェクト」「理科野外探究学習」、2年次に「平和ウォークラリー」、3年次に「社会野外探究学習」を実践している。

「平和ウォークラリー」では、70数年前に私たちの住む地で起こった出来事を学び追体験することで、戦争の愚かさや平和の尊さを実感するとともに、平和は与えられるものではなく、生徒たち自身が作り上げていかなければならないことに気づき、これからどうするべきかを考える機会としている。

### (1) 事前学習

戦争について学ぶ（平和新聞作成）、平和ウォークラリーオリエンテーション

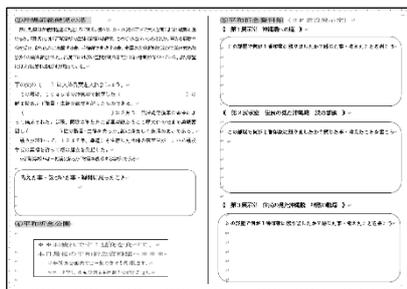
### (2) 平和ウォークラリー（約10km）・平和記念資料館見学

糸満高校→轟の壕→ガラス村交差点→ひめゆりの塔→健児の塔→平和記念公園、資料館見学

### (3) 事後学習

ワークシート作成・まとめ

## 3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



①ウォークラリー冊子より



②ウォークラリーの様子



③慰霊碑で黙祷の様子

## 4 成果

この活動を通して、過去に地域で起こった戦争の悲惨さを学ぶとともに、これまでの平和教育をESDの視点でとらえ直していくことができた。今後持続可能な社会を構築する一員として平和を守っていくためには、自身を含め一人一人が社会や他者とのつながりを意識し「戦争を許さない努力」をする責任があるということを実感することができた。糸満高校生が地域の一員であることを自覚し、よりよい地域社会実現のために考えるよい機会となった。

## 5 課題

平和学習以外にも、持続可能な社会を構築するためには何ができるか、どのような活動があるのかを考えさせながら様々な活動に取り組んでいきたい。